



シミズの風

発行元：清仁会事務局 〒615-8237 京都市西京区山田中吉見町11-2 TEL.075-394-8821 ホームページ <http://www.shimizu-hospital.or.jp/>

理事長あいさつ

9月に新たにシミズ病院に脳神経外科山下太郎先生、10月に洛西シミズ病院に整形外科村上友彦先生が着任されました。お二人とも若手ホープとして今後のご活躍が期待されますので、よろしくをお願いいたします。

ところで、シミズ病院グループの各病院並びに医院・クリニックには、常勤及びパートの先生が現在244名勤務されています。専門医としてす

ばらしい先生がたくさん活躍されています。洛西地区や亀岡地区において医院やクリニックを開業されている先生方に、定期的にシミズ病院グループの外来診療日程表を配布させていただいておりますので、専門医へのご紹介の程、よろしく願いいたします。

医療法人清仁会 理事長 清水幸夫



洛西シミズ病院 新任医師の紹介



むらかみ ともひこ
村上 友彦 医師

平成21年卒
専門分野 整形外科
担当外来 シミズ病院 毎週水曜日
洛西シミズ病院 毎週月曜日



10月1日より洛西シミズ病院の整形外科に着任いたしました。洛西シミズ病院は外傷・疾患ともに整形外科症例が多く、指導医の先生方にご指導いただける病院です。医師、コメディカルスタッフの皆様と連携を取りながら、貢献できるよう努力いたしますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

Seminar

シミズ病院、亀岡シミズ病院で 看護師の再就職(復帰支援)セミナーを開く



看護師の復職を後押しするセミナーを、シミズ病院で9月26日に、亀岡シミズ病院で10月5日に開催しました。

2病院ともそれぞれ4名の受講者が参加。シミズ病院のセミナーでは、まず病院の概況をはじめ、最新の看護の動向や脳外科看護、WLB(ワーク・ライフ・バランス)について説明を行いました。「脳外科っておもしろい」「楽しく仕事ができるかも」という気持ちになってもらおうと始めたセミナー。緊張した面持ちの受講者と昼食をともにし、労働時間の問題や以前の就業場所において言葉で傷つけられた経験などを聞きながら、コミュニケーションを図りました。

午後からのフィジカルアセスメントでは、瞳孔の見

方や腸音の聞き方に受講者は真剣な眼差しで取り組み、BLS(一時救命処置)ではいい汗をかいていました。また、脳卒中重症度評価スケールの一つであるNIHSSでは「難しい」と言いながら、脳の障害部位と神経症状との関連を興味深く聞き実践していました。



終了後のアンケートでは、全員が復職する上で役に立ったと評価しており、この一日が、復職のきっかけとなることを、看護師一同願っています。

亀岡シミズ病院の看護師らが、 亀岡市総合防災訓練に参加！



亀岡市主催の総合防災訓練が、残暑厳しい8月31日に月読橋球技場(馬路町)を主会場に行われました。地震および原子力災害、風水害を想定し、警察や消防署、自衛隊、防災ボランティアなど約2,500名が参加した大規模な訓練でした。

亀岡シミズ病院からは、看護師2名、放射線技師1名、事務員1名の4名が参加。福井県内で地震が発生、高浜原発の炉心損傷によって放射性物質が放出したとの想定に、避難してきた近隣住民のスクリーニング検査を担当しました。高浜原発から100km圏外の初めての汚染地域が南丹市となることを知り、地域での防災の重要性を感じ、訓練であっても身の引き締まる思いでした。

今年は全国各地で台風被害も多く、また台風18号においては京都府全域、身近な場所でも洪水の被害を受け、決して他人事として捉えてはいけないと思います。今回、防災訓練に参加し、訓練の必要性和意義を改めて考えることができました。

第5回シミズグループ介護施設 職員交流会で、初めての試みと して「事例研究発表」を行う

「第5回シミズグループ介護施設で働く職員交流会」を、10月23日午後1時30分からシミズふないの里で開催。総看護部長を含む34名が参加し、介護現場での課題などについて意見交換を行いました。

今回は、初めての試みとして事例研究を通じた、「自分の求めるやり甲斐のある介護・働き甲斐を育み、自己研鑽する」をテーマに掲げました。まず、シミズまわりの里、アイリス福祉会、清和会みわ、シミズふないの里の順に事例発表を行い、それに対する質疑応答では問題解決に向けたさまざまな提案が寄せられました。その後、介護主任の「初めての事例研究の取り組み」についての講義に続き、参加者が5つのグループに分かれ、「楽しく事例研究に取り組むには」と題したグループワークを行いました。どのような事例研究を行えば利用者様の満足度を高め、職員の達成感も得られるのかなど、活発に交わされた意見を各代表者が集約し発表しました。

介護施設職員が働き甲斐を感じ、離職者が少しでも減るように、自分の悩みやモヤモヤとした気持ちをみんなで話し合う場にしようと思った今回の交流会。「事例研究を通して、これからも介護技術と介護観を深めてもらいたい」と総括し、締めくくりました。



洛西シミズ病院、シミズふないの里で 恒例のコンサート～『故郷』を大合唱しました～

恒例の「院内コンサート」を、洛西シミズ病院で10月10日午後3時30分から約1時間、総勢56名の参加をいただき開催しました。入院患者様とご家族様の気分転換、また地域の方々との交流を図る目的で開催しており、早いもので11回目を迎えることができました。

毎年お越しいただいているピアニストの池田奈央さんと、フルート奏者の巽成己さんに演奏をお願いしました。今年大流行したNHK連続テレビ小説『あまちゃん』の主題歌か

ら始まり、曲名を当てるゲームでは、『ムーンリバー』『月の砂漠』等々、「月」をテーマにした曲目を患者様が次々に当てられ、「懐かしい」と涙ぐむ方も。あっという間の時間でした。

最後はアンコールで『故郷』をリクエストされ、全員で合唱しました。

参加された患者様が、「私は明後日退院ですが、本当に運が良かった。楽しい時間を過ごさせていただき、ありがとうございました」と言ってくれました。

なお、音楽療法士のお二人は、午前中にシミズふないの里「あおぞら音楽会」で演奏され、164名参加の会場は笑顔と合唱で溢れました。

